

## 標準測定分析法 2221

## オルト-アニシジン

分子量：123.16

CAS RN：90-04-0

濃度基準値：0.1 ppm IFV	物性等 比重：1.092 沸点：225°C 融点：5°C 蒸気圧：<0.133 kPa (30°C)
-------------------	--

別名：2-aminoanisole、2-methoxybenzenamine、o-methoxy aniline

以下の測定法に使用する物品は、現在販売の無いものもあるが、同等の性質のものを使用して差し支えない

サンプリング例	分析例
サンプラー：XAD-2 (150/75 mg) 流量：1.0 L/min 採気量：保存性：遮光冷蔵で1週間 (4~5°C) >90% 破過：0.2 mg/m <sup>3</sup> , 240分捕集で破過なし。	分析方法：高速液体クロマトグラフ分析法 (HPLC/UV) 脱着：メタノール 4 mL 20 min 超音波抽出、10 min 遠心分離 (3000 rpm) カラム：GL science Inertsil ODS-80A 250 mm (long) × 4.6 mm (i.d.) カラム温度：40°C 移動相： 水：アセトニトリル=65：35 (v/v%) 流量：1.0 mL/min 導入量：20 μL 測定波長：254 nm 検量線：メタノール溶媒で0~100 μg/mLの範囲。m-,p-体はこの条件で分離定量可能であるが、試薬によってはo-体に相当するピークが認められるので注意を要する。
精度	
添加回収率 (直接添加法) 10、20、50 μgの添加で91.8~97.8% 定量下限 XAD-2のブランク値の5倍を定量下限とすると0.02 μg/mL 0.00033 mg/m <sup>3</sup> (1.0 L/min、240分採気)	

適用：個人ばく露測定 八時間時間加重平均

妨害：o-, m-, p-体は分離可能

安全上の注意：オルト-アニシジンは眼に対する重篤な損傷・眼刺激性、皮膚感作性があるので、化学防護手袋や保護眼鏡を着用する。メタノールを扱う際も同様の防護が必要である。吸入による有害性があるのでドラフトで作業する。

根拠文献：

o-アニシジン及びp-アニシジンの分析測定法に関する検討結果報告書  
(測定法作成日 2006/03)

<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/pdf/risk/90-04-0.pdf>

参考文献：

1)NIOSH (NMAM) 2514, issue 2

作成日 2024/01/31